

話し合う会 2021 地域の外国人と日本語教室 第2回

日時：7月24日（土）13:30～15:00

場所：オンライン

テーマ：日本語教室におけるオンラインの活用と課題

進行：千葉月香 記録：鈴木勝代 参加人数 27人

1 開催趣旨説明：鈴木

2 発表：日本語教室におけるオンラインの活用と課題-自治体・協会職員という立場から考える-
発表者：梅田宅真（各務原国際協会）（資料は事前配信）

コロナで事業を見直し、学習者との繋がりや居場所を大切にするためにオンライン教室を始めた。有料のzoomを契約し、募集や告知も公式Lineや公式Facebookを利用した。いつでも誰でもできるようになった。それでも課題や苦悩はあり、試行錯誤しながらも頑張っている。

3 意見交換 *ブレイクアウトルームで5～6グループ話し合い、全体で共有

(1)梅田さんの発表を受けて

- ①zoomができるようになったのに、対面再開で、また振出しに戻ってしまわないか心配。
- ② 学習者によってオンラインに抵抗ある人、ない人がいる。Wi-Fi環境が整っていない人も。
- ③自治体の職員主導でオンラインの活用を始めたのは素晴らしい。
- ④千葉市では、交流目的のオンライン会話がある。外国人と日本人のバディー制度。
- ⑤学習者へのお知らせに公式Lineを使うことなど参考になった。
- ⑥職員の方がレベルを判断し、クラスの振り分けをしているのはすごい。

(2)本日の感想、自身の取組みなど

- ①マンパワーはどこからでも集まれるので、将来を考え、オンラインは何かの形で続ける。
- ②「話し合う会」も今回のように広範囲の参加者はオンラインならではのメリットだ。
- ③オンライン化に必要な予算やマンパワーなど、行政が責任を持って環境を整えるべき。
- ④子ども支援は1対1でしかできない。Wi-Fiが落ちたりしてオンラインだと、やりにくい。
- ⑤外国人にzoomを教えるのは大変だが、ゼロよりも少しでも進めていく。？

*今回は自治体職員の発表だったので、他県からの参加が多く、役立つ内容が多く、情報交換ができた。

4 次回案内

9月25日（土曜）13:30 - 15:00 オンライン

「教室は対面だけ？オンラインは？両立は無理？」-これからの教室活動のあり方を考えてみる-

5 アンケート結果（別紙）